

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成 24 年 2 月 14 日
【四半期会計期間】	第45期第3四半期（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）
【会社名】	アルビス株式会社
【英訳名】	ALBIS Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 大森 実
【本店の所在の場所】	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地
【電話番号】	0766(56)7200(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 笹田 悦朗
【最寄りの連絡場所】	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地
【電話番号】	0766(56)7200(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 笹田 悦朗
【縦覧に供する場所】	株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第3四半期連結 累計期間	第45期 第3四半期連結 累計期間	第44期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 4月1日 至平成23年 12月31日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
営業収益(千円)	55,998,334	51,028,272	72,281,979
経常利益(千円)	893,605	1,029,241	1,052,681
四半期(当期)純利益(千円)	175,370	449,221	46,408
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	63,620	484,262	66,441
純資産額(千円)	13,449,985	13,544,008	13,319,923
総資産額(千円)	33,903,938	33,269,964	32,346,132
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	5.39	13.82	1.43
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	39.7	40.7	41.2

回次	第44期 第3四半期連結 会計期間	第45期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成22年 10月1日 至平成22年 12月31日	自平成23年 10月1日 至平成23年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	2.86	8.19

- (注) 1. 営業収益は、売上高に不動産賃貸収入を加えたもので表示しております。
2. 営業収益には消費税等は含んでおりません。
3. 第44期第3四半期連結累計期間及び第44期並びに第45期第3四半期連結累計期間は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、いずれも潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は記載しておりません。
4. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
5. 第44期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当社グループは当社、連結子会社4社及び非連結子会社1社により構成されています。

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業内容の重要な変更はありませんが、平成23年11月1日付で、障害者を雇用しグループ内の各種業務を受託するアルビスクリーンサポート㈱を100%子会社として設立し、連結子会社が1社増加いたしました。

当社及び連結子会社である㈱サンピュアーは、直営食品スーパーマーケットを主な事業としており、それに付随して不動産賃貸などを行っております。また、連結子会社の㈱アルデジヤパンは惣菜品の製造及び精肉加工を、連結子会社の㈱クレハ食品は豆腐商品類の製造を行っており、いずれも直営スーパーマーケットを補完する事業として位置付けております。

なお、平成23年4月に、商業施設の管理、賃貸及び管理を行っていた連結子会社の北陸マーケット開発㈱を当社に、また、チェーン本部業務を営んでいた連結子会社の㈱新鮮市場を㈱サンピュアーにそれぞれ吸収合併いたしました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原子力発電所事故の影響から徐々に回復傾向にあるものの、欧州の金融不安による世界経済の停滞懸念や円高の長期化など、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

小売業界につきましても、個人消費の低迷とデフレ基調がより一層高まる傾向に加えて、競合店の新規出店及び業種・業態を超えた企業間競争が激化し、益々厳しい経営環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは、「北陸No.1スーパーマーケットの確立」を目指して次の取組み等を行いました。

商品面につきましては、お客様の商品に対する「安全・安心」への意識の高まりに対応する商品仕入の点検を強化するとともに、生活必需品を低価格で販売し、「安さ」を追求し購買意欲を喚起することに継続して努めました。また当社グループにおいては、原材料等にこだわった商品開発を実施する等、「美味しさ」の実現にも努めました。

営業面につきましては、「鮮度」を重視した品質管理と売場づくりに取組みました。またクレジットカード決済サービスの実施や土日・祭日における店舗開店時間の繰上げ等お客様の利便性向上と、「笑顔のサービス」による接客向上に努めました。

販売施策面につきましては、平成23年10月に、連結子会社である㈱サンピュアの「ポイントカード」を統一し、グループ51店舗間におけるポイントカード連携により更なるお客様の利便性向上を図りました。

店舗開発面につきましては、同年10月に「アルビスパスコ店」を改装し、お客様のニーズに応える品揃えと売場構成を導入いたしました。

業績につきましては、主に外販部門の売上が減少し、スーパーマーケット部門の新店（同年6月に高柳店、同年7月に奥田店を出店）売上は計画通り推移したものの既存店売上が前年を下回ったことで、営業収益は減収となりました。営業利益・経常利益面においては、スーパーマーケット部門の売上総利益が増加し、業務の効率化等の取組みにより販管費を抑制した結果、増益となりました。

また、同四半期純利益につきましては、前年同期間において「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」を特別損失に計上しておりましたが、当期はこの影響がなくなったこと等により増益になりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益51,028百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益844百万円（前年同期比21.0%増）、経常利益1,029百万円（前年同期比15.2%増）、四半期純利益449百万円（前年同期比156.2%増）となりました。

なお、当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成23年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年2月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	33,779,634	33,779,634	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数 1,000株
計	33,779,634	33,779,634	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年10月1日～ 平成23年12月31日	-	33,779,634	-	1,829,322	-	2,405,774

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,273,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 32,453,000	32,453	-
単元未満株式	普通株式 53,634	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	33,779,634	-	-
総株主の議決権	-	32,453	-

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
アルビス株式会社	富山県射水市流通センター水戸田三丁目4番地	1,273,000	-	1,273,000	3.77
計	-	1,273,000	-	1,273,000	3.77

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,249,983	4,053,265
売掛金	334,138	464,412
商品	1,283,956	1,723,478
仕掛品	532	247
原材料及び貯蔵品	54,509	72,449
その他	1,024,058	828,061
貸倒引当金	100,530	96,915
流動資産合計	5,846,648	7,044,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,810,524	7,593,503
土地	10,086,609	10,210,717
その他(純額)	2,473,345	1,664,845
有形固定資産合計	19,370,480	19,469,066
無形固定資産		
のれん	790,490	621,235
その他	598,379	627,626
無形固定資産合計	1,388,869	1,248,861
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,020,359	3,882,379
その他	1,938,548	1,837,007
貸倒引当金	218,773	212,349
投資その他の資産合計	5,740,134	5,507,036
固定資産合計	26,499,483	26,224,964
資産合計	32,346,132	33,269,964
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,580,386	4,706,952
短期借入金	2,007,000	802,000
1年内返済予定の長期借入金	2,576,674	3,017,242
未払法人税等	223,904	81,300
賞与引当金	368,355	174,218
その他	1,827,799	1,871,000
流動負債合計	10,584,118	10,652,713
固定負債		
社債	294,000	300,000
長期借入金	6,328,439	6,856,392
受入敷金保証金	843,890	869,463
資産除去債務	422,996	424,801
その他	552,764	622,586
固定負債合計	8,442,089	9,073,242
負債合計	19,026,208	19,725,956

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,829,322	1,829,322
資本剰余金	2,545,005	2,545,005
利益剰余金	9,447,378	9,636,549
自己株式	305,248	305,374
株主資本合計	13,516,459	13,705,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,805	163,765
その他の包括利益累計額合計	198,805	163,765
新株予約権	2,270	2,270
純資産合計	13,319,923	13,544,008
負債純資産合計	32,346,132	33,269,964

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	55,164,687	50,192,517
売上原価	40,933,367	36,289,519
売上総利益	14,231,319	13,902,998
不動産賃貸収入	833,647	835,754
営業総利益	15,064,966	14,738,752
販売費及び一般管理費	14,366,824	13,894,157
営業利益	698,141	844,595
営業外収益		
受取利息	25,115	23,887
受取配当金	13,003	13,514
受取手数料	43,792	37,176
持分法による投資利益	8,971	-
受取販売奨励金	107,570	78,114
その他	158,974	174,139
営業外収益合計	357,426	326,832
営業外費用		
支払利息	147,601	134,315
その他	14,361	7,871
営業外費用合計	161,962	142,186
経常利益	893,605	1,029,241
特別利益		
固定資産売却益	31,020	-
投資有価証券売却益	-	28,338
店舗閉鎖損失引当金繰入額	643	-
地役権設定益	-	10,691
特別利益合計	31,663	39,030
特別損失		
固定資産除却損	79,808	2,659
固定資産売却損	-	197
投資有価証券評価損	-	70,854
投資有価証券売却損	27,109	-
減損損失	66,004	-
店舗閉鎖損失引当金繰入額	5,200	-
預託金貸倒引当金繰入額	475	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	232,325	-
特別損失合計	410,923	73,711
税金等調整前四半期純利益	514,346	994,559
法人税、住民税及び事業税	328,542	272,258
法人税等調整額	10,433	273,079
法人税等合計	338,975	545,338
少数株主損益調整前四半期純利益	175,370	449,221
四半期純利益	175,370	449,221

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	175,370	449,221
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	111,750	35,040
その他の包括利益合計	111,750	35,040
四半期包括利益	63,620	484,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,620	484,262
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結累計期間において、当社は、平成23年4月1日付で連結子会社である北陸マーケット開発㈱を吸収合併いたしました。 また、第1四半期連結累計期間において、当社の連結子会社である㈱サンピュアーは、平成23年4月1日付で連結子会社である㈱新鮮市場を吸収合併いたしました。 さらに、平成23年11月1日付で設立したアルビスクリーンサポート㈱が新たに連結子会社となりました。

【追加情報】

当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。
(法人税率の変更等による影響) 「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年4月1日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.4%から、平成24年4月1日に開始する連結会計年度から平成26年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については37.7%に、平成27年4月1日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異については35.3%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は24,118千円減少し、四半期純利益は25,575千円減少しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

(単位：千円)

前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
減価償却費	1,020,384
のれん償却額	350,239
減価償却費	1,062,764
のれん償却額	169,254

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月29日 定時株主総会	普通株式	130,034	4.00	平成22年3月31日	平成22年6月30日	利益剰余金
平成22年10月29日 取締役会	普通株式	130,032	4.00	平成22年9月30日	平成22年12月3日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	130,025	4.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金
平成23年11月4日 取締役会	普通株式	130,025	4.00	平成23年9月30日	平成23年12月2日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	スーパー マーケット 事業	外販事業	その他の事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	48,303,457	7,286,038	408,837	55,998,334	-	55,998,334
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	5,277	103,889	253,035	362,201	362,201	-
計	48,308,734	7,389,928	661,873	56,360,536	362,201	55,998,334
セグメント利益	996,321	347,055	79,227	1,422,603	724,462	698,141

(注)1. 「調整額」には、セグメント間取引消去13,919千円、各報告セグメントに配分していない全社費用738,382千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで、「スーパーマーケット事業」、「外販事業」、「その他の事業」を報告セグメントとしてセグメント情報を開示しておりましたが、「スーパーマーケット事業」の継続的な規模拡大を図った結果、「スーパーマーケット事業」以外の事業の重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間よりセグメント情報の記載を省略しております。

なお、「その他の事業」に含まれていたデベロッパー業務については、社内のマネジメント体制を変更し、「スーパーマーケット事業」に付随する事業として同事業と一体的な管理を行うこととしております。

[次へ](#)

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年12月31日)
1 株当たり四半期純利益金額	5円39銭	13円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	175,370	449,221
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	175,370	449,221
普通株式の期中平均株式数 (千株)	32,507	32,506
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月4日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しました。

- | | |
|-----------------------|------------|
| (イ) 中間配当による配当金の総額 | 130百万円 |
| (ロ) 1株当たりの金額 | 4円 |
| (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 | 平成23年12月2日 |

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月14日

アルビス株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大村 啓三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡田 芳明 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアルビス株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アルビス株式会社及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。